

## 平成 29 年春の叙勲 角南 勝弘行政相談委員が受章（行政相談功労）

平成 29 年 4 月 29 日付けをもって、春の叙勲が発令されることになりました。

行政相談の分野において功績顕著な者として、岡山県では、角南 勝弘（すなみ かつひろ）行政相談委員（年齢：78 歳、担当区域：美咲町）に瑞宝双光章が授与されることになりました。伝達式は、別紙のとおり 5 月 11 日（木）に東京で行われる予定です。

### 角南 勝弘委員（美咲町担当）の略歴等

- ・ 平成11年4月、当時の総務庁長官（現総務大臣）から行政相談委員に委嘱。約18年にわたり、積極的かつ熱心に行政相談委員業務に携わっている。
- ・ 毎月1回の行政相談所を開設しているほか、自宅や地域での会合等においても、地域住民からの行政相談を積極的に受け付け、処理しており、行政と住民の架け橋として行政運営の改善に大きく寄与している。
- ・ 元教員としての経験や人脈を通じての活動、男女共同参画担当行政相談委員（平成15年9月～現在）としての活動、地元の遺跡の保護・普及活動、ALT（公立小・中・高校で英会話を行う外国語指導助手）への訪問相談等の地域活動などの幅広い活動を通じて、行政相談制度及び行政相談委員制度の普及・啓発や潜在する苦情、要望、意見などの掘り起こしに尽力しており、その真摯な取組は地域住民や関係機関からも厚い信頼を得ている。
- ・ 年間の相談受付件数は、県内トップクラス。（相談の事例は別紙参照）
- ・ 美咲町内の小・中学生を対象とした行政相談出前教室の開催のみならず、他の行政相談委員による出前教室の開催を支援。

#### [その他の略歴]

- ・ 公立小・中学校教諭・教頭・校長（昭和37年4月～平成11年3月）
- ・ 美咲町教育委員会委員長（平成17年5月～21年5月）
- ・ 美咲町男女共同参画まちづくり審議会会長（平成20年3月～22年2月）
- ・ 岡山行政相談委員協議会会長（平成25年4月～現在）
- ・ 美咲町文化財保護委員（平成27年4月～現在）



#### 《行政相談委員とは》

- ・ 行政相談委員法(昭和 41 年法律第 99 号)に基づき、総務大臣が委嘱した民間有識者（ボランティア）です。
- ・ 岡山県内には 108 人が配置（全国では約 5,000 人）。
- ・ 委員は、定期的に市町村役場や公民館等で定例相談所を開設。住民の皆さまの身近な相談相手として、国の行政などに関する相談を受け付け、相談者への助言や関係機関に対する改善の申入れなどを行っています。



（お問い合わせ先）行政相談課  
柳、白神

電話 086-231-4322

FAX 086-221-5661

E-Mail okaya30@soumu.go.jp

## <伝達式>

日時：平成 29 年 5 月 11 日（木曜日） 11：30～

場所：東京プリンスホテル 2階「鳳凰の間」

（東京都港区芝公園 3-1-1、電話：03-3432-1111）

## <相談の事例>

### （その1）

相談者から、「美咲町内の一級河川吉井川と吉野川の合流地点の河床に大量の土砂が堆積して天井川の状態になっており、台風や集中豪雨の際には堤防から溢水するおそれがあるので、早急に浚渫してほしい。」との申出を受けた。

角南委員が現地確認したところ、申出のとおりであったことから、同委員は、河川管理者である岡山県の担当課を訪れ、現地の状況を説明し、詳細な現地調査と対策の検討を依頼した。この結果、県は申出箇所を浚渫するとともに、当該箇所を土砂の堆積状況に応じて定期的に浚渫することとした。これにより、堤防の決壊による災害を危惧していた地域住民から大変感謝された。

### （その2）

中学校で開催された行政相談出前教室において生徒から出された要望で、「中学校に通学するために自転車で県道を通行しているが、夜間照明が無い。部活動などで下校が遅くなり、特に冬季は早く暗くなるため危険を感じるがあるので、夜間照明を設置してほしい。」というものがあつた。

角南委員が現地確認したところ、申出のとおりであったことから、同委員は、町の担当課を訪れ、現地の状況を説明し、詳細な現地調査と対策の検討を依頼した。この結果、同町は、20箇所にて防犯照明灯を設置し、これにより、暗闇の中での下校に危険を感じていた同中学校の生徒や保護者から大変感謝された。

### （その3）

地元の遺跡の保護・普及活動を通じて、相談者から「中国自然歩道に設置されている史跡、文化財等の説明板には、ペンキの字が消えかけて分かりにくいものがあるので、説明板を補修してほしい。」との申出を受けた。

角南委員が岡山行政評価事務所職員と一緒に 20 箇所の説明板を現地確認したところ、申出のとおり、補修を要する説明板が複数みられたことから、同委員は、説明板の設置者である岡山県の担当課を訪れ、現地の状況を説明し、説明板の補修を依頼した。この結果、岡山県により説明板の補修が行われ、補修後は、観光、学術調査で訪れる人々に好感を持たれている。